

各位

ガイアホールディングス株式会社  
(コード番号:3727 東証マザーズ)

## ガイアホールディングス

## 平成 26 年 12 月期通期連結業績予想を発表

## ～M2M 関連事業分野等の業績拡大による V 字回復、黒字化の見通し～

ガイアホールディングス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役:郡山龍、以下「ガイアホールディングス」)は本日、平成 26 年 12 月期の通期連結業績予想を開示し、M2M 関連事業分野等における業績拡大により、売上高が再び 100 億円を突破し、営業利益、経常利益、当期純利益いずれも黒字に転じ V 字回復となる業績予想を発表いたしました。

ソフトウェア基盤技術事業セグメント内の新規事業である M2M 関連事業分野においては、これまでに取り組んできた研究開発や大型展示会への出展等の先行投資が実を結び、さまざまな業界の機器メーカーやアプリベンダーとの取引が開始されております。当社グループが提供する M2M 製品を既存の家電製品等につなぎ、家電製品等とスマートフォンが連携することにより、GPS や各種センサー、インターネットから提供される地図情報や各種 Web サービス等、スマートフォンが提供するさまざまな機能を活用して生活を便利に豊かにするアプリケーションを開発することが可能となり、新しいサービスを提供する巨大市場の創造と事業拡大を進めております。これらにより、当期(平成 25 年 12 月期)は先行投資の回収が本格化し、来期(平成 26 年 12 月期)には通期連結売上高の約 3 割を占める売上構成にまで成長する見込みです。

コンテンツ・サービス等事業セグメントにおいては、秀作に恵まれている出版事業や、高い評判を持つ映像事業を中心に、自社 IP(Intellectual Property: 知的財産)を最大限に活用する総合エンターテインメント事業展開の本格稼働を推し進めております。ヒットしたコミック作品のアニメ化やゲーム化、ヒットアニメをもとにしたコミック化やゲーム化、さらにマーチャンダイジングを加え、クリエイターの創り出した世界観をより多くの形でファンに楽しんでもらうよう提供し、収益性の確保を実現していくことで既存事業の安定化を図ると同時に、更なる収益基盤の確立に向けた自社 IP 及びソフトウェア基盤技術とのシナジーを最大限に活用し、来期以降の収益性の拡大を実現してまいります。

昨今の厳しい経営環境の中、原点に立ち戻り、起業以来四半世紀以上にわたる競争力の源泉であるソフトウェア基盤技術を再び事業の中核に据え、高い技術力を持つ企業として海外でも知名度の高い「Aplix」のブランド名をグループの名称に再び冠したアプリックス IP ホールディングス株式会社への商号変更(予定)を当期に実施し、高いソフトウェア開発技術力と先進性をもとに、競争優位性のある製品を市場にいち早く投入することにより、企業価値の向上と収益の拡大を目指してまいります。

以上

## ■ ガイアホールディングス株式会社について

ガイアホールディングスは、全世界の地域毎の特性を捉えた多様なグローバルビジネスを展開するため、グループ一体となった経営体制で企業価値の向上を図ることを目的として誕生しました。グループ企業には、株式会社アプリックス、株式会社ジー・モード、株式会社アニメインターナショナルカンパニー、iaSolution Inc.、フレックスコミックス株式会社、株式会社ほるぷ出版などがあり、グループ各社が提供するゲームやアニメ、コミック等のコンテンツ・サービスと、それらのコンテンツ・サービスを快適にご利用いただくための技術、品質、先進的基盤を提供すること、それがガイアグループの目指すものです。

コーポレートサイト:<http://www.gaia-hd.com/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

ガイアホールディングス株式会社 IR 担当 Tel:050-3786-1715

※アプリックスIPホールディングス株式会社への商号の変更は、平成 25 年 3 月 22 日開催予定の当社第 28 回定時株主総会において定款の一部変更が承認されることを条件とします。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

※記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。